

KCJS NEWSLETTER



☆☆☆カフェ紹介☆☆☆

"Lucky Owl"



ジャスティン・チャオ(ボストン大学)

白。黒。茶色。大小。赤ちゃんや大人のふくろう。 ふくろうであれば、「ラッキーアオル」に全部いる。 大阪の有名な道頓堀の中にある、ラッキーアオル は珍しい。外から見ると、ラッキーアオルの建物 は普通であるかのような建物だ。だから、見落と しやすい。でも時々、二階の窓で生き生きとした 店員はラップンツェルのように上から、下を歩い ている人に呼ぶ。「いらっしゃいませ!いらっしゃ いませ!フクロウがいます。いらしてください!」 と呼び込む。長くて狭い階段を登るとラッキーア オルに入る。夢に出てくるような場所に入る。

大阪にほかのフクロウカフェが二つある。だが、ラッキーアオルは特別なカフェだ。 去年九月七日に開店したラッキーアオルは、大阪のフクロウカフェの中で、ラッキー アオルが一番新しいフクロウカフェだ。子供の時から、オーナーはフクロウに強く興 味を持ってきたそうだ。フクロウの、表情が大好きだそうだ。そして、オーナーの夢 はフクロウへの情熱を広けることだそうだ。ラッキーアオルは色々なお客様が訪ねて 来る。国内は沖縄から北海道まで、海外はアメリカからイランまで、たくさん所から 来るお客様がいる。だから、この夢は果たされてきたそうだ。

ラッキーアオルはフクロウにこだわっている。今、合計、七羽いる。色々な国から 来たが、全部同じ日本人のブリーダーから買ったそうだ。全部夜に寝るとか。そして、 昼間はお客様はフクロウと遊べる。一番大きいフクロウの名前はディアナというのだとか。ディアナは中型犬のように大きいけど、まだ赤ちゃんだとか。でも、赤ちゃんは赤ちゃんだけど、成長し終わったそうだ。つまり、ここからディアナは大きくなれなくなる。ディアナの羽毛はとてもふわふわ。ラッキーアオルの吉田雅子さんはそう教えてくれた。

フクロウ以外に、ラッキーアオルで飲み物も買える。飲み物一本で一時間は千円。アルコールー杯千二百円。生憎、飲み物は普通だったけど、フクロウの近くで飲めるから、ラッキーアオルでとてもすごい経験ができる。皆さんもラッキーアオルに一度行ってみてください。



イバン・エスカミヤ(ボストン大学)

大阪の奥を探ると、まるでエキゾチックな森で迷子になったように感じる。未知の野生の鳴き声、フクロウの魂の本質を捕らえた絵。そしてジュースとアルコールの爽やかさ。大阪市の道頓堀のなかにあるカフェ「*Lucky Owl*」は、去年9月に開店して、最近日本人や外国人などに人気になってくるような喫茶店。大阪にもうフクロウカフェが2軒あるが、最もフクロウの種類が多くて、理想的な地域にあるし、どんどん有名になってきた。

赤ちゃんの時から育てられているフクロウはすぐ人間に慣れるので客さんに安全で、頭を触ってもいい。「色々な国からフクロウを見るためにお客様が来ます」と語ってくれたのは店員のよしだまさこさん。服からスマートフォンのウォールペーパーまで全てフクロウづくめで、多くのフクロウについて知識を持っているみ

たいだ。「イギリスやオーストラリアや、そしてパキスタンから訪れる人が多くて、大多数は外国人」なのだとか。フクロウを見るだけではなくて、買うこともできる。一匹三十万八千円だったが、百万円という費用がかかるフクロウもいた。ある夫婦はクリスマスのために買ったそうだ。

私が飲んだジュースもおいしかったが、「*Lucky Owl*」はフクロウという独自性にこだわりがあるのとだ感じた。育てられたフクロウは飛ぶことが好きではないのでお客さんは快適にリラックスでき、親しみやすい店員と話せる。

そのカフェの飲み物が好きか好きではないかは別として、 このカフェにさえ行ければ楽しめるだろう。

1



マッキニー(コーネル大学)

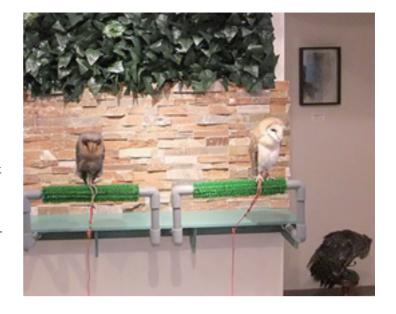
二〇〇〇年代の猫カフェをはじめ、日本では動物をテーマにしたカフェがどんどん人気になる一方だ。アメリカより、日本の家はかなり狭いし、ペットの鳴き声はうるさいかも知れないし、家を出る時に誰かにペットの面倒を見てもらわなければならないから、やはり、ペットを飼っていれば、生活しづらくなるそうだ。ペットとの住みにくさがきっかけで、色々な動物に触れるカフェが開店されたのだ。猫カフェはよく知られているけれども、猫に限らず、あるカフェは、うさぎやヘビやフクロウを触ることができる。

日本でしかできない体験をするために、2月1日に、大阪の道頓堀のラッキー・アウルというフクロウカフェに *KCJS* の友達八人と一緒にフクロウを触りに行った。ラッキー・アウルは去年の9月7日に藤永敏秀が開店した。藤永さんは子供の頃から、フクロウの表情が好きだから、フクロウカフェを開店しようと決心した。開店してから、フィンランド人や、イギリス人や、ドイツ人や、パキスタン人など、世界中の国人が来た。もちろん、日本人も、北海道から、沖縄までたくさん来たそうだ。

道頓堀には高いデパートも小さい店もたくさんあるから、読みやすくていい地図を持って行かなければ、見落としがちで、道を聞くしかない。しかし、カフェに近い店の三人以上の店員に、フクロウカフェへの道を聞くと、フクロウカフェのことが信じられないような顔をして、「フクロウ??」を聞かれてしまった。

30分間ぐらい迷ってから、なんとか、私たちはフクロウカフェに着いた。二階の階段を登り、ドアを開くと、日本からずっと遠い熱帯林に瞬間移動したという感じ。葉に隠された石の壁に、かけられた木製の棚。その棚には、フクロウが七羽。

フクロウカフェは狭く、私たちは八人だったので、店員が四人しか座れない木製のテーブルを繋げてくれた。メニューを見ると、飲み物しか注文できなく、それに、飲み物の選択が少ないと気付いた。私はココアを注文したが、ココアが来たら、味はコンビニで買える粉末ココアと区別できなく、小さいカップに半分ぐらいまでしか入っていなく、困った。一般のお客さんはカフェにコーヒーを飲みに行くためではなく、やはりフクロウを触りに来るのだろう。それにしても、カフェと名がついているので、飲み物の美味しさにもっとこ



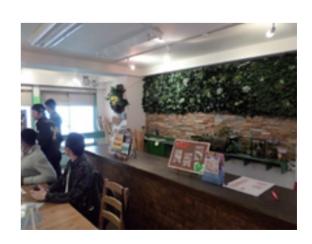
だわった方がいいと思う。

ココアを飲んだ後で、一番大きなフクロウに近付いた。腕を伸ばしたら、フクロウの目が急に大きくなって、びっくりした。ある女の人が私の所に手伝いに来てくれた。「フクロウの頭の後ろから」という触り方を教えてくれたのは、吉田雅子という店員だ。フクロウは、人間の手から食べるのに慣れているので、腕を伸ばすと、手を噛むそうだ。それを聞いて、フクロウを触るのを止め、インタビューを続けることにした。

吉田さんによると、お客さんのために、フクロウが不自然に昼間に起こされ、人間が触りに来るから、ストレスを溜めてしまうとか。人間は、お腹がすいたら、普通は何か食べるが、フクロウは、ストレスがあったら、腹が減っても、飢えたまま、死ぬまで我慢することがある。このようなカフェを巡り、動物虐待をするのを人々が熱い議論をしているが、吉田さんは本店については、その議論は不必要だと思っている。このカフェに来さえすれば、ペットとしてフクロウを優しく扱うことが分かってくるからだ。

一時間が過ぎたので、すぐカフェを出ることにした。一人ずつ、 1000円払い、新しくできた友達のフクロウに「サヨナラ」と言った。大阪に行ったら、ぜひラッキー・アウルに行ってみてください!







"Printz"

カミー・ワイスガント (バード大学)

新西堀というデザイナーによるデザインで、Prinzのシンプルなエクステリアは中と全部違う。ドアを開けたら、会話の声が聞こえて、いい香りがしてくる。全部白いテーブルでアーティストのような若いお客さんたちが座っている。 喫茶店だけではなくて、ギャラリーとバーもある。ギャラリーの中で、時々イベントやライブがある。カフェの隣に、小さい部屋があって、その部屋にも色々な CD や本がある。喫茶店の後ろに大きい庭もあって、外で座れる。二階にはホテルもあるらしい!モダンな雰囲気。おいしいコーヒーと食べ物。現代アート。Prinzに人々が惹かれる理由だ。

日曜日の昼ご飯は喫茶店はとてもにぎやかな時だから、本と CD がある部屋に座っていた。コーヒーを飲みながら、アートブックを読んで、人々を見ていた。食べなかったが、「Prinz はお店で作るソーセージにこだわっている」と教えてくれたのは、ウェイターだった。メニューにはパスタやサラダ、コーヒやお茶などが並ぶ。毎週、新しい週替わりメニューがあるので、いつもおいしいものを見つけることができる。特にそれを食べたくない場合には、さらにデザートもたくさんある。

静かな高原町の住宅街に位置している。この地域の隠れ家的な店だ。ヨーロピアンスタイルの料理を作って、ホテルもあるから、外国人が若い日本人と交流する。シックな外見でありながらも家のような感じもある。小さい図書室で時間を過ごすことができる。*CD*をリクエストすることもできる。京都にいる間に、ぜひ一度行ってください。











"Caffe Lucca"

トリ・モアー(ボストン大学)

六角通にある他の店と異なり、ヨーロッパにある喫茶店のような店構えが面白くて魅力的だ。買い物の休憩をするのにいい場所で、外からお客さんは店が込んでいるかどうか見やすい。青い日よけがあるカフェ・ルッカという気が置けない喫茶店はそのようなカフェだ。入る前でさえ、日本的な喫茶店ではないと感じるが、入ると、聞こえるのはジャズだし、タバコの香りもするし、ヨーロッパの感じが強くなる。カフェのメニューによると、ルッカという言葉はトスカーナで(イタリアのチーズとワインで有名な地域)使われていた古い名前のようだ。

この喫茶店はかなりモダンそうだけど、本当は十五年前に開店したと教えてくれたのは店主のデカチョーさん(デカチョーはあだなだそうだ)という店主だ。 仕事の中で一番いい点は、ルッカに来るきれいな女性と言っていた。ルッカのお客さんはほとんど二十代の女性達で、店主はいつも嬉しいそうだ。店のビジネスで、お客さんと店主の関係が一番大切なことだと思ったそうだから、ルッカのイタリアの店のような雰囲気がこだわりだ。

また、ルッカのメニューに、たくさん美味しい食べ物と飲み物があって、一つだけ選ぶことが難しいほどだ。おすすめはキャラメルモカフラッペという飲み物(上にある右の写真)で、注文したら、美味しくて無料のお茶もお客さんに出しくれた。イタリアの影響で、ルッカはエスプレッソとサンドイッチがこだわりで、一階にイタリアのバーもある。二階には客席だけで、そこで美味しいコーヒーを飲みながら、大きい窓の外には六角通を歩いている人がみえて、すごくリラックスできる。六角通と寺町通で買い物したら、コーヒーからイタリアの雰囲気まで、カフェ・ルッカは絶対には行った方がいい店だ。







コリン・ギルモア (ボストン大学)

居心地がいいキャビンのような店内。パリのカフェのようなコーヒーやティー。そして、子供が空想から生み出すようなレジの前に座っている面白い野獣のマスコット。烏丸四条のにぎやかな表通りの近くにある「cafe&barCham」は友だちと一緒に休むためには最高の所だ。昼間はかわいいカフェだけど、夜間はクールバーになる。三年前に開店したばかりなのに、もう京都の粋な若者に人気が出てきている。

「私は、他のカフェに比べて、「Cham」のスタイルの方が楽しいと思います」と話してくれたのはウェイトレスのみねこさん。「この辺にあるカフェはとても日本らしいけど、Chamはもっとユニークな雰囲気でしょう」と話してくれた。Chamのユニークな特質の一つは「ポール」と「スミス」というマスコットだ。店長はデザイナーと一緒に、かわいくて奇怪な双子を作った。ポールくんとスミスくんは一緒に店を見張っている。

もちろん、Chamは面白い店内ばかりではなく、美味しい飲み物と食べ物にもこだわりがある。みねこさんの午後のお勧めの飲み物は、チャイやカプチーノで、食べ物はチキンパニーニサンドだ。夕方のお勧めの飲み物は、モヒートで、食べ物は、オムライスだ。私は午後行ったから、アイスチャイを飲んでみた。京都では美味しいチャイはあまり見つけにくいようだけど、そのチャイはすごく美味しかった。本当に、cafe&barChamは学生が憩うために理想的な店だ。皆にも行ってみてほしい。

←マスコットの「ポール」と「スミス」



"猫会議"

ニーナ・カプル(タフツ大学)

木製カウンターでお茶を注文すると、絹のような柔らかい毛の猫が私の手に顔をすりつけてくる。白いソファに座ると、隣に寝っている火のような毛の色の小さい猫がいる。 烏丸御池駅から東に歩いて5分だけの所に「猫会議」という喫茶店がある。「猫会議」 は普通ではない喫茶店で、おいしい飲み物やいい雰囲気だけではなく、猫も13匹いる。 この喫茶店の種類は猫カフェだ。過去十年間に日本では人気が出てきて、国内でたくさんの猫カフェが開店してきた。「猫会議」はたった5年前開店したが、今、京都では一番人気がある猫カフェだ。

「日本人は様々な興味や生活がありますが、たいていの人は猫が好きだと思います。猫会議はその猫が好きな人のための場所です」と語ってくれたのは店主の堀井真由子さん。一時間800円でお客さんはリラックスをしたり、お茶を飲んだり、宿題をしたりしながら、猫と遊べる。「猫会議」には猫が13匹いるから、種類の多さが真由子さんのこだわりだ。ノルウェーショートへアとか虎猫とか。。。たくさん特別な猫がいるのだとか。でも、どこから13匹猫をもらったのだろうか?真由子さんは色々なボランティアから猫をもらった。他の場所に引っ越す人達とか、猫の世話が出来ない人達などが「猫会議」に猫をくれた。だから、「猫会議」はカフェであるだけではなく、助けた猫の家でもある。

「猫会議」では猫が一番人気がある特徴だが、お茶やコーヒーもとてもおいしい。リンゴ茶が一番おすすめの飲み物で、本当にリンゴのような味がする!また、他の猫カフェと比べて、「猫会議」の飲み物の値段はもっと安いのだとか。忙しかったら、休憩して、「猫会議」で猫と一緒にリラックスしてみたらどうだろう!







東京の思い出

ハドリー・ハウザー(シカゴ大学)

東京の旅行の時に、「A to Z」というカフェに行った。このカフェは私が一番好きな奈良美智という画家がデザインしたものだ。どうやってこの画家を知ったかというと、モダンアートについて本を読んだ時、彼の絵がたまたま目に入ったのだ。奈良美智のサインはちょっときもかわいくて、子供が書いたような見た目だ。カフェに入った時、そっこく気に入った。子供や犬の姿がよく絵に出てくるのだが、入るところは犬小屋に入るのと同じ感じだった。戸は卵形で、壁は粗い木で作られていた。すべて簡単な配色だった。食べ物もとてもシンプルで、壁にかけてあった絵が中心だった。しかも、このカフェは雰囲気がとても魅力的だった。このカフェは実に私に子供時代のくらしぶりを思い出させてくれた。





ダイジェン・テイ (ボストン大学)

六年前に、東京に行ったことがあるので、今度、皆と東京に行ったのが 二回目だ。出発の日、珍しく大雪が降っていたので、新幹線に乗った時、 皆は窓からの景色がきれいだと言った。しかし、その大雪は二十年ぶりで、 なかなか大変だった。夜、電車やバスやタクシーなどが止まり、不便だっ たのだ。しかも、日本人の友達に言われた、東京で必ず行くべき有名なと ころに行けなかった。

月曜日の朝、皆で有楽町にある無印の店に行ったが、少しがっかりする ことになった。「日本の会社」という授業の先生が皆を店に連れて行くはず だったのに、朝、先生はなぜか姿を現さなかったのだ。そのことで、先生 がその授業は大切ではないと思っているような気がした。

無印を訪ねたら、店のマネージャーが最初に会社が創立した時の信念と「無印」の由来について一時間ぐらい話してくれ、近年日本の経済は不景気だが、無印の企業の業績は増える一方だと微笑んで言われた。

今回の旅行には不愉快なこともあったが、やはり面白く、特別な経験だっただろうと思う。KCJSの友達と遊んだことでもう十分なのだ。







京都御苑ツアーの感想

ディアナ・ナーディー(コロンビア大学)

一番好きな花は何かと聞かれると、ほとんどのアメリカ人は、「そんなことについて一度も考えたことがない」とか「特にないよ」と答える。だが、先日の御苑ツアーの内容からも分かるように、日本人の場合は違う。世界中で日本人に花が愛されていることは有名だ。しかも、日本人は昔から同じ花や木を見て、その美しさに感動してきた。だからこそ、梅、桜、松、藤というように花や木について書かれた詩が数えられないほど多いわけだ。また、日本人の家族はそれぞれ、特定の花や植物をモチーフにした家紋さえあるそうだ。私は、そのことを聞いて、本当にびつくりした。

そこで、なぜアメリカ人は花に興味がないのかという質問が自然に出て来る。これは、ただ私の意見に過ぎないが、もしかしたら、アメリカは日本よりも広いので、全国的に咲いている花がないからなのかもしれない。それに、日本よりもアメリカの方が若い国だから、一般的に花を愛しむ習慣がまだ根付いていないのかもしれない。とは言え、アメリカの花には興味がないにもかかわらず、私は、日本の紅葉が一番きれいだと思う。

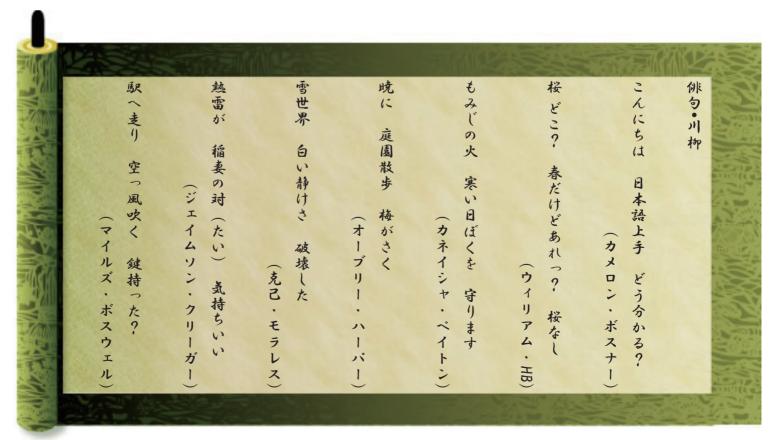




日本語力向上のためには

コウジ・スパングラー(ウェズリアン大学)

日本語を習うために一番大切なことは日本人の友達ができることだ。確かに、教科書から学んだり、授業を取ったりすることも大切なことだ。だが、日本人の友達が出来ないと、日本語で普通の会話ができるようにならないと言える。現に、僕は日本に来て、日本人の友達が出来て、週末に日本人と一緒に出かけ始めてから日本語が前より上達したような気がする。授業で勉強ができない表現がたくさんあるので、日本語が習いたかったら、日本人の友達を作って毎週どこかに行くというように日本人の友達と一緒に出かけるのが重要だ。





能楽鑑賞の感想

アンナ・アンドリチャク(シカゴ大学)

1. 能と、日本での日常生活や社会の間に見られる共通点について

能は、他の日本の伝統芸能のように、成文化しているものだと考えられている。家元という制度があって、子供が能楽師の家に生まれたら、能楽師になる可能性はまだ高い。日本の社会、特に昔の社会では、そのようなあり方は当然だった。それに、能は革新よりもむしろ伝統を強調する。現在、能のレパートリーには約250の芝居があるそうだ。新しい芝居を作るのは珍しいらしいのだ。実際、家元だけは新しい脚本を作成する力を持つ。そこには、日本のビジネスの世界と共通している面があると思う。日本の年功序列制度や終身雇用制度は伝統を強調する制度だ。たとえ非効率性が生じるとしても、そういうやり方が一般的だ。日本の会社が1980年代と1990年代に革新していたならば、経済はこれほどひどく落ち込まなかったかもしれない。

2. 能について最も興味深いこと

能について最も興味深いことは、伝統か慣例によって、能の囃子方と出演者が、演奏の数日前、一緒に一回しか練習しないことになっていることだ。つまり、一般的にそれぞれの囃子方や出演者は、一人で自分の基本的な動き、謡、舞、演奏を練習するわけだ。そんなことは怖いことなので、とても印象的だ。能は、「無常観」という昔の日本の美学の体現だと言えるかもしれない。「一期一会」という有名な表現がぴったりだ。

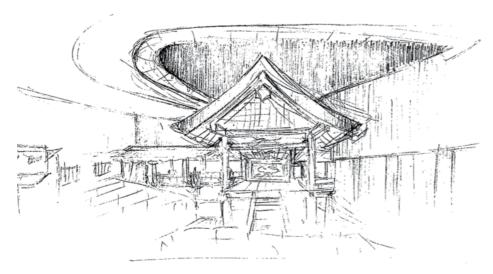
フーン アン・グエン (ボストン大学)

1. 能と、日本での日常生活や社会の間に見られる共通点について

能の舞台前と舞台中の演者の態度は、日本的だと思う。どういうことかと言うのをステージアシスタントを使って説明したい。ステージアシスタントは、舞台の後ろにいる2、3人の人で、事故の防止のために芝居の終りまで正座で待っている。これも日本人の覚悟の表れだと思う。いつ何かが起こるかもしれないので、精神的な準備をしておくことは日本人に必要なことのようだ。特に日本は島国で、津波や地震がいつ来るか予想不可能なので、前もって心の準備をしておくような習性が身に付いたのかもしれない。

2. 能について最も興味深いこと

奇抜な衣装の組み合わせと文様以外に、演者の劇的な動きが素晴らしかった。躍動感のない遅い動きから、急に力強い勢いのある動きになることでテンションが上がる。能楽は一見退屈そうだが、その精巧さに気がつけば楽しめるのだ。どの動きも気魄があり、気持ちが込められているので、引きつけられる。



フーン アン・グエン (ボストン大学)

7

オリジナル後然草

落ち込みを直すもの

(ジョージワシントン大学)バネッサ・テナザス

リームを直接食べる時。夢を手に入れる時。大型容器からアイスクる映画の主人公が何回も失敗した後にやっと可愛い動物が元気な姿を見せる時。見てい

ング」を歌うならきっと盛り上がっていく。う時。嵐の「Troublemaker」や「ファイトソわず、そのハイテンションな曲を一所懸命歌ハイテンションな曲を聞く時。体裁もかま

友の笑顔を見ると、やはり笑うしかない。泣きたいほど悔しい時に側にいてくれる親

心が平和になるもの

ムン・ダニエル(スワスモア大学)

が広くなる。広くなると、自然に平和になる。 心が平和になるもの。家に帰る電車に乗る を、この悲哀を癒す機会がある。一方、幸せ と、この悲哀を癒す機会がある。一方、幸せ と、この悲哀を癒す機会がある。一方、幸せ と、この悲哀を癒す機会がある。一方、幸せ と、この悲哀を癒す機会がある。一方、幸せ な話を聞くと、相手の気持ちが自分の心に入 る。他人の話を聞くのは長さにかかわらず、 いい気持ち。つまり、話を聞くと、自分の心 いい気持ち。つまり、話を聞くと、自分の心 に入る。他人の話を聞くのは長さにかかわらず、

ホビット

アレクサ・バンデマーク(エモリー大学)

ほど。最初に現れる存在が、最高の存在。見るエルフの王国の自然な美しさは息を呑むい木の下を通って、新鮮な空気を吸いながらエルフは森!世界が生まれた時代からの古

脈、何としても貴重な家を守る。て、忠義は計り知れない。そびえし霧ふり山のように、硬くて、動かしにくくても、強く族が想像できぬ富裕を採る。岩でできた祖国ドワーフは山!大事な山の中心から他の民

と我慢して、王の帰還を待つ。しても、未来が見えないほど暗くても、ずっそれが、希望の力。闇の魔法使いが同胞を消はないが、それより大事な特徴を持っている。人間は都市!一番美しい、力強い、英明で

丘の下にある家に楽しそうに戻る。れずそれに抵抗して、何としてもいつまでも牧草地の外から闇の噂か化け物が来れば、恐事にして、静かで長閑な生活を送る。だが、恐がはいる民族は成長している植物や動物を大きている民族は成長している植物や動物を大きている民族は成長している植物や動物を大きている民族は成長している植物や動物を大きている。





2014 年春学期 第6号



京都のプロフェッショナルに学ぶ

教室での日本語学習は、本国でもできます。京都にいるからこそ可能なこと。それは、京都の町、そして、人々との繋がりから 学ぶことです。 日本は、創業 200 年以上の企業が世界で最も多いとされています。特に、同志社大学が位置する京都市上京区は、伝統産業、伝統文化に 携わる人の宝庫で、老舗企業の風土や文化が最も色濃く残る地域です。

2013年秋学期に D クラスで行ったこの体験型学習プロジェクトでは、上京区内の様々な仕事場を「京都のプロフェッショナルに学ぶ」 という切り口で取材し、取材した内容を記事にまとめました。ここでは、その記事の一部を紹介します。記事の全文は KCJS のサイトから ご覧ください。

また取材記事は、過去の物も含め、上京区役所のホームページ「カミング(http://kamigyo.sakura.ne.jp/tokushu/kaigai/)」、もしくは、 KCJS のサイトから地域向けに発信しています。

竹林から障子まで ~竹を紙に変える「西陣テラ」小林亜里さん

「竹紙ってご存知ですか。竹紙というのは、名前の通り、竹から作られた手漉きの紙 です。竹紙の技術は千年以上前中国から来ましたが、私にしてみれば独特な風合いをし ている竹紙の方が、和紙より「侘び寂び」の日本らしい感じがします。長い歴史があり ますけれど、私が知る限り、ほとんどの現代の若者たちは竹紙のことを全然知らなさそ うです。でも、竹紙の魅力が分かれば絶対に竹紙を使いたくなるはずです。…」

> ヒューズ・権成 (ブランダイス大学) 続きは→ http://wp.me/p47gMJ-2i



素晴らしい照明!

行纸から得る感動 ~行纸と小林亜里さんの人生における幸せ

「…竹紙の面白さは、竹の特徴的な繊維感です。硬い竹の繊維を柔らかくして竹紙を 作りますが、その繊維が紙になった時に現れる表情が、一番面白いそうです。一枚一枚 の竹紙は、繊維の並びの違いで、独特の魅力があります。竹紙は一見、普通の和紙のよ うに見えますが、電気の下にかざすと、繊維が織りなす、すばらしいイメージが見えま す。…」

> ショーウ・リュー (ブランダイス大学) 続きは→ http://wp.me/p47gMJ-2x



竹紙を作るイベントをして 皆さんに教えていあげている小林さん

創造力で伝統的な京繍の魅力を広げている ~中村さんの刺繍小粉

「…私は中村さんが開発した製品を見て、刺繍ならではの美しさを活かすことと、上品 な商品にすることの二つが条件になっていると感じた。例えば、あやめとか桜とか季節 を彩る花のイメージなどの素晴らしい額や、可憐で楽しい色で楽器のイメージなどが施 されているネクタイなどだ。…」

> アレクサ・バンデマーク (エモリー大学) 続きは→ http://wp.me/p47gMJ-2c



音楽が好きな男の人や楽しい色が好きな 男の人には、こんなに丁寧に繍われた ネクタイがピッタリ!

この刺繍、リアルすぎー! ~糸で五体的に描く中村刺繍~

「…刺繍の場合、糸と針を使うため、絵画より表現方法が限られていると思っていたので、繍い方 が二百以上あると聞いて驚かされた。繍い方は、どんな風に増えて、継承されていったのだろう。 代々、刺繍職人は自分の思い描くイメージを形にするために新しい繍い方を次々に編み出していっ た。昔は決まった繍い方のルールがなかったので、既存の繍い方で表現が足りない場合、新しいの を試してみることが多かったのだ。…」

バネッサ・テナザス(ジョージ・ワシントン大学)

続きは→ http://wp.me/p47gMJ-1X



この猫が糸で繍われたと言われても 信じられない!



鏡の秘め事 魔鏡を作れる最後の鏡師

「一枚の「魔鏡」と呼ばれる青銅鏡は、一見、地味なオレンジ色の丸に過ぎない。鏡 面をじっと見つめると、自分の目だけが映る。それは、当たり前のことだ。鏡は、いつ も真実を映し出すという考えがある。青銅鏡はどうやって人命にかかわる秘密を隠し得 るのだろうか。…」

> キャサリン・エイカー (ウェズリアン大学) 続きは→ http://wp.me/p47gMJ-1v



山本晃久さんは、手で青銅鏡を作ります

青銅鏡を通して見られる職人の挑戦状 ~現代の鏡師の修行~

「…魔鏡作りの工程とそれぞれの技術は大変複雑です。昔からこの技術はあまり変わっ ていません。現代のテクノロジーがどんなに先進的でも、手作りの魅力に替えられない と考えている山本さんは、手作りにこだわっていて、金属を溶かし流し込む鋳型(いが た)と鋳造(ちゅうぞう)から、裏面の模様を刻み、鏡面を研ぎ、そして本鍍金(めっ き)するまでの作業を全部自分でします。…」

> ミンテン・オーヤン (バージニア大学) 続きは→ http://wp.me/p47aMJ-1J



切削の後の砥石研ぎと炭研ぎも工程の一環

中を見たら過去も将来も現れる魔法の鏡

~全国で一軒しかない魔鏡作りの技術はこれからどうなるか~

「…山本さんは最後の魔鏡の職人として魔鏡の将来を作る力がある。この伝統的な技 術を守ることと現代に応用することとどちらの方が大切にしているかと聞くと、山本さ んはやはりどちらもと答えた。伝統的な技術であり、五世代に渡る家業でもあるため、 **魔鏡が失われることが許せない。職人として魔鏡を魔鏡として残していきたいという気** 持ちが強い。…」

> 西原ケイティ (ウエルズリー大学) 続きは→ http://wp.me/p47gMJ-1Q



現代キリスト教以外の宗教のイメージが 入っている魔鏡を作るのが多い

すごい集中 すごい旁力 鎧作りの世界

~京都で鎧を作る職人さんのあり方

「…本当にいい物を作るためには集中が必要です。永年さんは、何かをしながら鎧を作りません。 鎧を作る時は、それだけに専念します。京都は冬、すごく寒くなります。にもかかわらず、阿子 さんはそんな寒さに気がつかないほど集中していて、ストーブが消えているのに、気がつかない ことがよくあるそうです。…」 ジェームス・メロディー(ペンシルベニア大学)

続きは→ http://wp.me/p47gMJ-11



着初式で夘月さんご夫婦の生徒さ 自分で作 った鎧を着まし

オリンピックのためによろいを作っている!~鎧を作る職人の仕事観

「…卯月さんご夫婦は実用性のない物を作っていることを重々分かっているが、そこに他の価値 があるので作り続けている。鎧には日本の歴史や文化、そして、多様な物作りの技術が含まれて いるが、最近、鎧の作り方がわかる人がどんどん少なくなっていっていることに危惧している。…」

マット・アルブレクト (ノースウエスタン大学)

続きは→ http://wp.me/p47gMJ-T



大鎧を着ている夘月阿子さん



KCJS25 秋学期学生賞 受賞者

KCJS25の秋学期の受賞者は、以下のみなさんです。 おめでとうございました!

①日本語をよく使っているで賞

サナ・アリヴィラニさん(スワスモア大学)

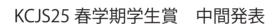
2日本の社会によくとけ込んでいるで賞

キム・ハミンさん(ウェズリアン大学) ショーユ・リューさん(プランダイス大学)

3日本語講師賞

マイルズ・ボスウェルさん(ワシントン大学セントルイス) ④KCJS 所長賞

リード・ヒルデブランドさん(ウェズリアン大学)



学生たちによる中間投票の結果、以下の人たちが現時点で1位から3位に選ばれています。

①日本語をよく使っているで賞

- 1位 キャサリン・エイカーさん (ウェズリアン大学)
- 2位 カニーシャ・ペイトンさん(コロンビア大学)
- 3位 キム・ハミンさん (ウェズリアン大学)

②日本の社会によくとけ込んでいるで賞

- 1位 スパングラー・コウジさん (ウェズリアン大学)
- 2位 キム・ハミンさん (ウェズリアン大学)
- 3位 ミンテン・オーヤンさん (バージニア大学)

学期末の本投票で選ばれた人には、賞金が出ます。





